



第 68 期

中間報告書



製品名：ストロングペイプ、SAZARE
(市道大手町通町線再整備工事（香川県丸亀市）)

日本興業株式会社

株 主 の 皆 様 へ



代表取締役会長兼社長

多田 綾夫

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

このほど本年4月1日から9月30日までの当社グループ第68期第2四半期の営業概況がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

四半期連結貸借対照表

当第2四半期連結会計期間末

《2022年9月30日現在》

単位 千円(単位未満切捨)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
【 流 動 資 産 】	6,048,850	【 流 動 負 債 】	4,779,467
現金及び預金	1,186,962	支払手形及び買掛金	1,048,287
受取手形及び売掛金	2,170,832	電子記録債務	972,435
電子記録債権	844,026	短期借入金	2,040,145
商品及び製品	1,330,317	未払法人税等	30,891
仕掛品	94,869	未払消費税等	34,951
未成工事支出金	11,271	未払費用	138,012
原材料及び貯蔵品	335,663	賞与引当金	124,802
その他の他	75,779	その他の他	389,941
貸倒引当金	△ 870	【 固 定 負 債 】	893,753
【 固 定 資 産 】	6,676,030	長期借入金	611,274
有形固定資産	5,746,891	繰延税金負債	6,857
建物及び構築物(純額)	957,957	その他の他	275,622
土地	3,845,025	負 債 合 計	5,673,221
その他(純額)	943,908	(純 資 産 の 部)	
無形固定資産	146,183	【 株 主 資 本 】	6,824,029
投資その他の資産	782,955	資本金	2,019,800
投資有価証券	454,079	資本剰余金	2,025,656
退職給付に係る資産	229,211	利益剰余金	2,869,793
繰延税金資産	10,967	自己株式	△ 91,220
その他の他	88,696	【その他の包括利益累計額】	227,630
資 産 合 計	12,724,881	その他有価証券評価差額金	175,415
		退職給付に係る調整累計額	52,214
		純 資 産 合 計	7,051,659
		負 債 純 資 産 合 計	12,724,881

四半期連結損益計算書

当第2四半期連結累計期間
《2022年4月1日から2022年9月30日まで》

単位 千円(単位未満切捨)

科 目	金 額	
売 上 高		4,644,446
売 上 原 価		3,738,027
売 上 総 利 益		906,418
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		951,978
営 業 損 失(△)		△ 45,559
営 業 外 収 益		
受 取 配 当 金	9,294	
受 取 賃 貸 料	6,938	
工 業 所 有 権 実 施 許 諾 料	2,844	
物 品 売 却 益	6,875	
雑 収 入	6,468	32,421
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	7,107	
賃 貸 費 用	2,665	
雑 損 失	92	9,865
経 常 損 失(△)		△ 23,004
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	473	
補 助 金 収 入	2,000	2,473
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	206	
固 定 資 産 圧 縮 損	2,000	2,206
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 失(△)		△ 22,736
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	11,401	
法 人 税 等 調 整 額	△ 8,712	2,688
四 半 期 純 損 失(△)		△ 25,425
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 失(△)		△ 25,425

四半期連結包括利益計算書

当第2四半期連結累計期間
《2022年4月1日から2022年9月30日まで》

単位 千円(単位未満切捨)

科 目	金 額	
四 半 期 純 損 失(△)		△ 25,425
そ の 他 の 包 括 利 益		
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		△ 5,640
退 職 給 付 に 係 る 調 整 額		△ 5,995
そ の 他 の 包 括 利 益 合 計		△ 11,636
四 半 期 包 括 利 益		△ 37,062

ハイライト情報

単位 千円(単位未満切捨)

回次	第 67 期 第 2 四半期 連結累計期間	第 68 期 第 2 四半期 連結累計期間	第 67 期
会計期間	自 2021 年 4 月 1 日 至 2021 年 9 月 30 日	自 2022 年 4 月 1 日 至 2022 年 9 月 30 日	自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日
売上高	4,940,446	4,644,446	11,768,800
うち 土木資材事業売上	3,306,597	3,030,602	7,948,498
うち 景観資材事業売上	1,041,804	1,060,686	2,658,288
うち エクステリア事業売上	592,045	553,157	1,162,013
経常利益又は経常損失 (△)	89,740	△ 23,004	420,042
親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	57,124	△ 25,425	273,181
純資産額	6,990,576	7,051,659	7,161,176
総資産額	12,758,855	12,724,881	13,760,268
1 株当たり純資産額 (円)	2,413.89	2,435.05	2,472.80
1 株当たり四半期 (当期) 純利益 又は 1 株当たり四半期純損失 (△) (円)	19.73	△ 8.78	94.33
自己資本比率 (%)	54.8	55.4	52.0
営業活動によるキャッシュ・フロー	552,717	297,295	678,881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 133,046	△ 166,933	△ 256,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 542,806	△ 315,344	△ 388,456
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	1,215,222	1,186,962	1,371,945
従業員数 (名)	328	355	328

事業紹介

当社グループはコンクリート二次製品の製造・販売を通じて「美しく豊かな環境作りに貢献する」ことを経営理念としており、「環境との共生」、「景観との調和」をキーワードに、土木資材事業、景観資材事業、エクステリア事業の3事業を展開しております。

土木資材事業 【環境との共生】

道路、河川、下水、宅地造成などにおける各種土木製品の開発、生態系を含めた環境製品開発、景観、緑化と融合した製品開発はもとより、防災・耐震性を考慮した製品開発へと展開しております。



製品名：プレキャスト踏掛版
(高知駅秦南町線道路改良工事 (高知市))

【第2四半期連結累計期間の状況】

国や地方の推進する「国土強靱化」や「防災・減災」、「流域治水」などの重点施策への対応を強化するとともに、建設現場における生産性向上や工期短縮化に向けたプレキャスト化の提案を推し進めた結果、道路用製品や貯留・防災製品は堅調に推移したものの、主力製品のひとつであるボックスカルバートや関連の仕入製品等の販売が振るわず、昨年度の業績をけん引した民間の大型物件も終了したことなどにより、当セグメントの売上高は30億30百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

景観資材事業 【人にやさしい環境】

公園、ニュータウン、各種公共施設などに、舗装材を中心とする水平展開から、ファニチュアの垂直展開まで幅広く製品をコーディネートし、提供しております。人と自然にやさしい空間づくりの提案、共感の得られる環境製品の提供と、次世代まで引き継がれる豊かな公共空間の創造に努めております。



製品名：バリアフリーペイブ
(ミカン下北 (東京都世田谷区))

【第2四半期連結累計期間の状況】

豊富な製品ラインナップと当社オリジナルの特注対応力を活かした提案営業を推進し受注獲得に努めた結果、主力のバリアフリーペイブや透水タイプの舗装材は第1四半期の苦戦の影響が残ったものの、擬石や擬木などのファニチュア製品が売上を伸ばしたことで、当セグメントの売上高は10億60百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

エクステリア事業 【快適空間】

街並みに調和する外構づくり。
個性を演出するエクステリア。
個人住宅から店舗用製品まで幅広いジャンル
で製品を提供し、ガーデニング関連、ペット
関連等新たなテーマを掲げ、快適な空間づくり
を追求しております。

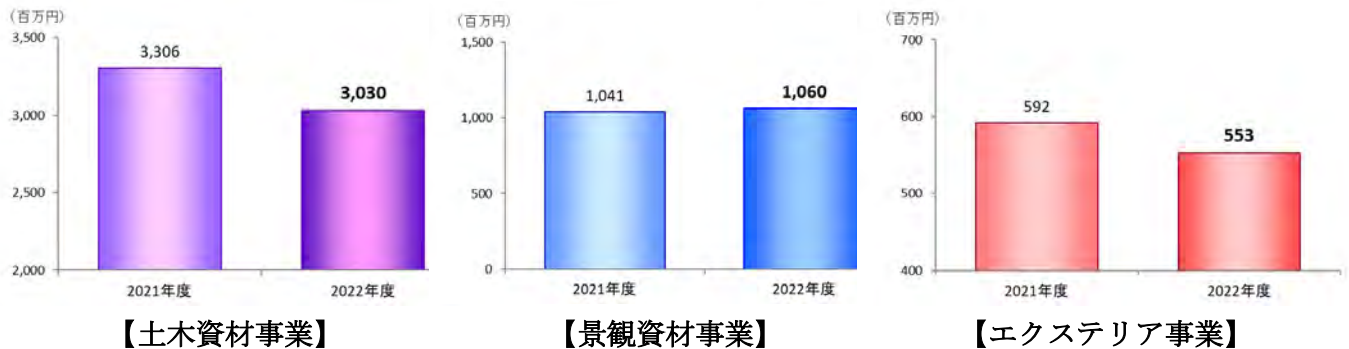


製品名：グリルコラム

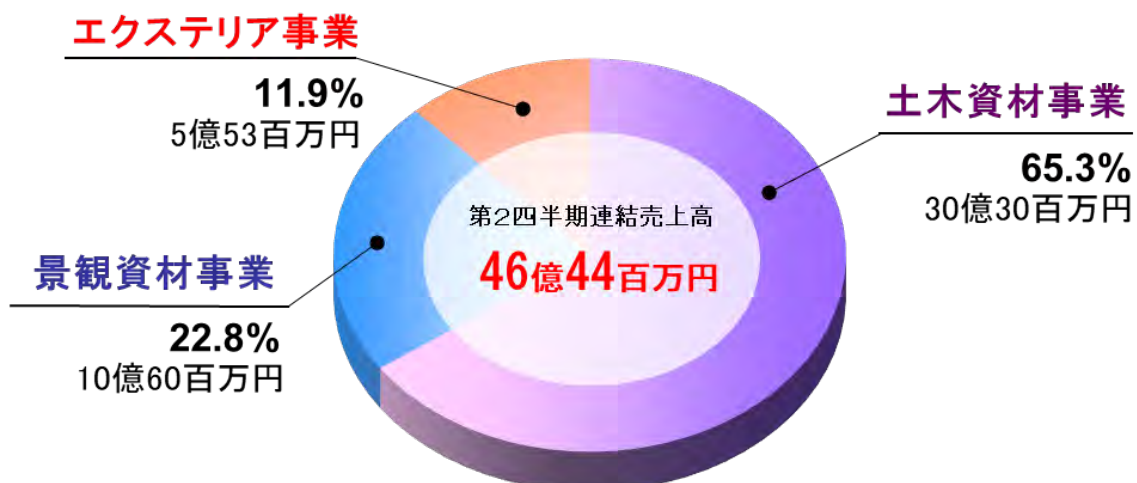
【第2四半期連結累計期間の状況】

品揃えを図りハウスメーカーへの拡販を推進した結果、主力製品の立水栓は堅調に推移したものの、積みブロックをはじめその他の製品の販売が振るわなかったことにより、当セグメントの売上高は5億53百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

セグメント別売上高の推移（第2四半期連結累計期間）



セグメント別売上高の構成（第2四半期連結累計期間）



トピックス

■ 茨城工場を創設

2022年4月1日付で、(株)新茨中（茨城県笠間市）の事業を一部譲受し、茨城工場を創設いたしました。また、同年6月20日には工場敷地内に新しい事務棟を開設し、北関東営業所を同事務棟に移設・集約することで、製販一体による土木資材事業の展開態勢が整うこととなりました。

◆茨城工場創立式典開催（2022年4月1日）



◆新事務棟開設（2022年6月20日）



今後も当社の長年の経営課題「東日本地区での土木資材事業の本格展開」の実現に向けて、鋭意取り組んでまいります。

株式の状況

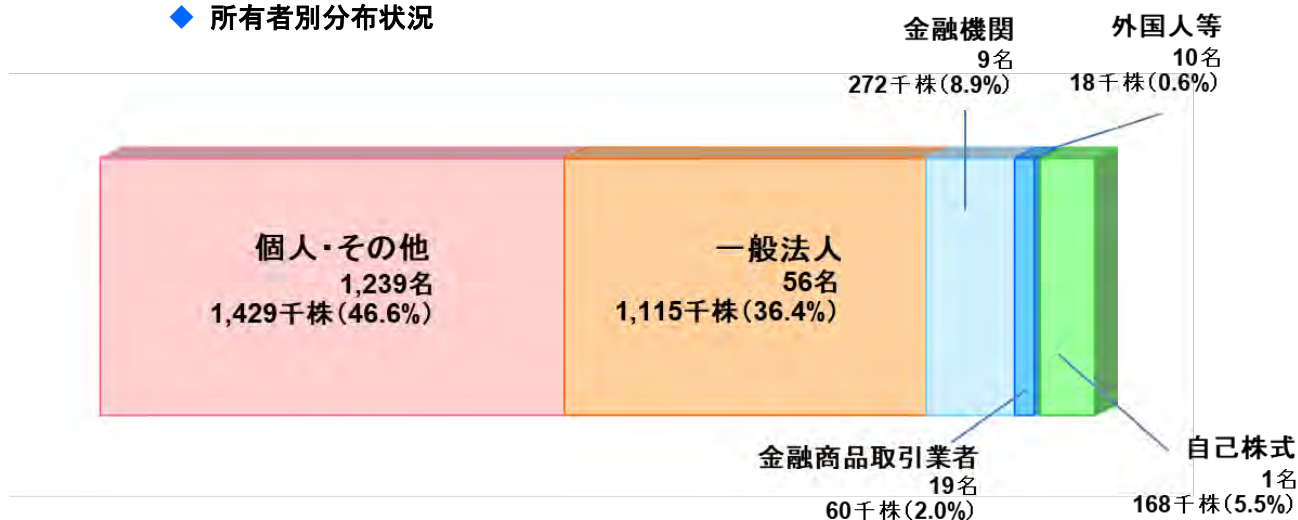
《 2022年9月30日現在 》

● 授 権 株 式 数	7,200,000 株
● 発 行 済 株 式 総 数	3,064,200 株
	(自己株式 168,303 株を含む)
● 株 主 数	1,334 名

◆ 大 株 主

株 主 名	持株数 (千株)
積 水 樹 脂 株 式 会 社	690
ニ ッ コ ー 共 栄 会	317
ニ ッ コ ー 持 株 会	162
U B E 三 菱 セ メ ン ト 株 式 会 社	111
株 式 会 社 伊 予 銀 行	78
ア サ ノ 産 業 株 式 会 社	72
中 山 盛 雄	67
株 式 会 社 香 川 銀 行	52
株 式 会 社 商 工 組 合 中 央 金 庫	43
住 友 生 命 保 険 相 互 会 社	41

◆ 所有者別分布状況



会社概要

《 2022 年 9 月 30 日現在 》

社名	日本興業株式会社
本店	香川県さぬき市志度 4614 番地 13 電話 087-894-8130 (代表)
ホームページ	https://www.nihon-kogyo.co.jp
設立	1956 年 (昭和 31 年) 8 月 10 日
資本金	2,019,800,000 円
従業員数	304 名

役員

《 2022 年 9 月 30 日現在 》

《取締役・監査役》

代表取締役会長兼社長	多田綾夫
社外取締役	福井彌一郎
社外取締役	仙頭靖夫
社外取締役	白木渡
取締役兼常務執行役員	山口芳美
取締役兼執行役員	久保淳
取締役兼執行役員	乗松伴成
取締役兼執行役員	金子弘朗
常勤監査役	川人秀昭
社外監査役	多田章人
社外監査役	新名均

《執行役員》

執行役員	太田孝明
執行役員	山田雅宏
執行役員	藤田学
執行役員	伊賀良太
執行役員	岩田典久

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会…… 3月31日 剰余金の配当……期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告 当社ホームページにて掲載 https://www.nihon-kogyo.co.jp/koukoku.html
単元株式数	100株

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。